



■ 手術件数・入院件数の増加を支える診療体制作り

2016年度は年間の手術件数、内科疾患の入院件数が前年度より増加し、内視鏡検査・治療実施件数と心臓カテーテル症例数がわずかながら減少する結果となりましたが、2014年度から2016年度までの3か年に於いて手術件数で平均6.7%、内科疾患入院件数で12.1%、内視鏡検査・治療実施件数で11.8%、心臓カテーテル症例数で3.6%の増加傾向にあります。開業医からの患者紹介率、救急車の来院数も増加しており安全かつ適切な診療体制を維持・発展させていく経営努力を続けて参ります。